平成２７年度　中津市社会福祉協議会　事業報告

（概　要）

国の福祉施策が見直される中、特に平成２７年度は介護保険制度改正への対応、障がい者や児童福祉事業の運営の強化、生活困窮者や認知症にかかる支援の強化、生きがいにつながる福祉活動とボランティア活動支援の充実、住民による支え合い活動への支援の強化などの重点事業に取り組むと同時に経営戦略として組織強化や人材の育成と財政健全化を図り、効果的で効率的な経営基盤に努めてまいりました。

なかでも、生活困窮者自立支援制度は施行初年度を迎えましたが、本会は平成２６年度からのモデル事業により重点強化項目として取り組んできており、さらに平成２７年度は専任相談員を１名増員して強化に努めてまいりました。自立相談支援事業の相談者数は前年の３８名から２３０名と大幅に増加しています。

また、三光、本耶馬渓、耶馬溪、山国地域を対象に認知症地域支援推進員を１名配置して、「オレンジカフェ」の開催や認知症高齢者徘徊模擬訓練を実施し、認知症の人やその家族、地域住民の認知症に対する理解や協力を深める活動を行いました。

さらに、新規事業として、生活支援コーディネーターを１名配置し、日常生活を営む上での必要な支援を行う生活サポート事業の展開を図り、山国や耶馬溪地区における住民型有償サービスの立ち上げに向けての支援を行いました。

このほか、介護保険制度改正に伴い、大幅な収入減が予想された通所介護事業においては、総合事業による介護予防の実施や理学療法士を増員することにより機能訓練の充実を図ることによって利用者の増につなげることができ、特別養護老人ホームにおいては、各種の研修を通じて職員の資質向上に努め、入所者が快適で安心・安全に過ごせる生活の場を提供し、また、待機者の状況把握等に取り組み、できる限り満床に近づく対応に努めることにより、当初計画された収入の減を最小限におさえ、若干の黒字を計上することができました。

また、養護老人ホーム中津市豊寿園を平成２６年１０月に受託し、一年半が経過しました。本年度は、養護老人ホームの周知を積極的に図り、入所者の生きがい活動、地域貢献活動に努めてまいりました。

今後も、様々の法改正への対応や経営戦略の必要性を鑑みて、課長会を中心とした経営会議を定期的に行い、タイムリーな業務運営に努力してまいります。

■強化項目

Ⅰ　総合相談支援体制基盤の確立

Ⅱ　福祉サービスの開発と展開

Ⅲ　“生きがい”につながる福祉活動とボランティア活動

Ⅳ　地域福祉ネットワークの実現

Ⅴ　効果的・効率的な経営基盤（組織・人財・財政）の確立

Ⅰ　総合相談支援体制基盤の確立

総合的な相談支援体制づくりにおいて、ワンストップ相談窓口を目指し、多様なケースに応じた相談対応を行なってきました。傾向として、経済的な困窮状態からだけではなく、複合的な問題の相談ケースが増えてきています。

そこで、生活困窮者が早期に困窮状態から抜け出し、自立した生活が送れるよう、より専門性を活かした支援体制づくりや相談の受入れ環境体制づくりが求められるなか、生活困窮者の自立相談支援窓口を増設し、どのような支援が必要なのかを具体的に把握しながら、支援を要する人と共に計画的に進め、その人がその人らしく地域で生活できるための支援を行いました。

また、新規事業として認知症地域支援推進員を１名配置し、オレンジカフェの開催や、認知症高齢者徘徊模擬訓練実施、認知症家族介護者教室の開催や相談支援を実施し、認知症の方や家族、地域住民の認知症に対する理解や協力を深める活動を行いました。

①個別の生活課題に対応できる総合的な相談支援体制づくり

・生活困窮者への自立相談支援

本所生活相談支援係に主任相談員１名（兼任)、相談員３名（専任３）の計４名を配置し、初期相談から継続した生活の支援を行いました。平成２７年度は、総合相談３９０件中、自立相談支援事業としては２３０名の方の相談がありました。相談内容は重複した課題を抱えている方がほとんどで、比率で見ると収入や債務など家計不安に関することが約半数を占め、次いで、就労に関する相談（２０％）となっています。２７年度から新たに始まった、ホームレスの方に対する一時生活支援事業については、７名の方に対し実施しました。

本人の支援受け入れが困難なケースや障がいが考えられることにより社会への適応に困難を感じているケースも多く、本人の自立への精神的働きかけなど、訪問回数や時間を要することから、他機関と連携しながら継続して支援を行っていく事が必要となっています。

・地域包括支援センターの充実

新規事業として地域包括支援センターに、市内の４地区（三光、本耶馬渓、耶馬渓、山国）を対象地域とした認知症地域支援推進員を１名配置して、認知症の人やその家族が地域の人や専門職と情報を共有し、お互いを理解し合う集いの場「オレンジカフェ」の開催や、本耶馬渓地区において、認知症高齢者徘徊模擬訓練実施、認知症家族介護者教室や相談支援を実施し、認知症の方や家族、地域住民の認知症に対する理解や協力を深める活動を行いました。

認知症高齢者徘徊模擬訓練 in 本耶馬渓

Ⅱ　福祉サービスの開発と展開

今日の地域における生活課題や福祉課題は、高齢者、障がい者、子育て世帯のニーズの他に貧困や社会的孤立など複雑化・多様化しています。それらの課題に対しては、本会が実施する福祉サービスの提供を行い、また地域にある様々な社会資源を活用し対応を行ってきました。

平成２７年度は介護予防・日常生活支援総合事業の実施や介護サービスの機能強化、生活支援コー

ディネーターの設置などの介護保険制度改正への対応をはじめ、新規事業に向けての調査や検討を実施し、また、地域の拠点施設であるやすらぎ荘や中津市豊寿園の地域貢献活動の取り組みに重点を置きながら福祉サービスの充実を図りました。

（１）ニーズを抱える高齢者や障がい者の生活を地域の実情に沿って支援するサービスの開発

①日常生活を営む上での必要な支援を行う生活サポート事業の展開

・市内の拠点（地域サロン）に出向き、ニーズの把握や相談を受け付け、関係機関等への橋渡しを行い、地域住民による支えあいの仕組みづくりを支援

新規事業として、生活支援コーディネーターを１名配置し、地域住民やサロンの方、専門職へのニーズ調査による地域に必要とされる生活支援サービスの開発、更に週一回以上開所しているサロンにおいて、専門職による相談会「よりあ」を開催し、主に高齢者の相談やニーズ把握を行いました。こうした活動により、山国、耶馬溪地区における住民型有償サービスの立上げに向けての支援につなげることができました。

また、事業所や行政等と理解を深める会議を開催し、連携強化に努めました。

関係者会議

立ち上げ準備会議

②住民の権利を継続的にサポートする権利擁護事業の展開

・その人らしい生活を支援する「権利擁護センター（仮称）」の設置検討

平成２８年度の「総合相談支援センター（仮称）」設置に向け、権利擁護に関する取り組みにおいて先進地である岡山県総社市と瀬戸内市の社会福祉協議会を視察し、本市におけるサポート体制や運営の有り方のイメージを固めることができました。

（２）子育て世代が交流できる機会づくりと生活しやすい環境整備

①ファミリー・サポート・センター事業の推進

・会員増を図るための周知活動と専門のアドバイザーによる相互援助活動の支援

子どもの預かり等の援助を受けたい『おねがい会員』の登録者が４９名、援助を行う『まかせて会員』の登録者が６２名となり、チラシや広報紙等の周知活動を行った結果、相談も増加し、総活動件数が１０７件となりました。

（３）介護事業などを活かした、地域に必要とされるサービスの展開

①介護保険制度改正に対応したサービスの展開

・各種サービスの機能強化と介護予防・日常生活支援総合事業への取り組み

総合事業の通所型サービスＡ及び訪問型サービスＡを実施し、介護予防が必要な高齢者に対しサービスの提供を行いました。またデイサービスに理学療法士を増員し、機能訓練の充実を図りました。

②認知症高齢者の支援体制の充実

・認知症介護の専門職の配置など、各デイサービスの認知症対応機能を強化

認知症対応型通所介護事業『デイサービスもくれん』を休止（平成２７年４月）しましたが、各デイサービスで認知症の方の受入れを行い、認知症介護実践者研修の修了者の配置や認知症予防プログラムの充実を図り支援を行いました。

③地域のニーズに応じた新たな高齢者サービスの実施

・ひとり暮らし高齢者等が安心して地域で生活を継続できるための２４時間対応サービス（仮称）の検討

耶馬溪町見守りネットワーク協議会の協力により対象者へ『夜間の相談・緊急対応へのニーズ調査』を行った結果、夜間等の緊急的な支援を必要としているニーズは少ないが、「夜、不安になった時に相談する人がいない」「日常的な見守りの強化」などの意見がみられました。

そこで、プロジェクトチームを発足し検討を重ねた結果、住民活動である見守りネットワークと公的機関や民間団体との「協働」による見守り体制の強化と情報集約体制を計画し、平成２８年度に整備することになりました。

（４）特別養護老人ホームやすらぎ荘の経営充実

①介護保険制度改正に対応した施設サービスの展開

・報酬改正を踏まえた財政運営の検討（加算に向けた体制づくり）

報酬単価の引き下げによる減収対策として、新たな介護加算として「口腔衛生管理体制加算・看取り介護加算」について検討を進めましたが、嘱託医師や外部の歯科医師との密接な連携と歯科衛生士による技術的助言及び指導等が必要であり、新たな経費負担と介護職員不足の状況では実現が困難であり本年度は取り組みが出来ませんでした。

・これまで蓄積してきた施設の介護力を活かした、地域貢献活動への取り組み

地域の各種団体やボランティアの方々が来荘され演芸講演会や運動会、供養盆踊り、紙芝居、餅つきふれあい交流会等のイベントによる地域交流を深めることができました。また、避難訓練につきましては、近隣住民や自治委員・民生児童委員の参加する中で地域の拠点施設としての活用を図ることができました。

沖代すずめさん演芸交流会

年末餅つきふれあい交流会

・サービスの向上を図り入所者が快適で安心・安全な生活の場の提供

職員の更なる資質向上を図るため、介護技術研修、喀痰吸引等研修、食事ケアリーダー研修、高齢者の権利擁護研修、コミュニケーション術研修などを行い、内部に生活向上委員会

などの委員会を開催し、介護サービス向上を図りました。

また、四季の行事やイベントを開催し交流を深めながら充実した生活が過ごせる対応を行いました。そして、健康管理面については、日々の介護支援に加え身体的機能及び能力に合わせ日常動作訓練など効果のある指導や機能訓練に取り組み、快適で安心・安全な生活の場の提供を行いました。

・待機者の早期入荘に繋る効果的な入所検討委員会の開催

本荘のタイムリーな入所対策として、効果的な入所検討委員会を３ヶ月に一度開催しながら待機者の直近の状況把握を行う取り組みとして、関係機関との情報共有やご家族への情報提供などを行い、可能な限り満床に繋げる対応を行いました。

また、ショートステイ利用者増に繋げる取り組みとして、利用者のニーズに添った見直しや機能訓練の中身に対して、特色を生かしたサービスの質の向上に向けた取り組みを行いました。

（５）養護老人ホーム中津市豊寿園の経営充実

①養護施設（措置制度）の周知等に関する取り組み

・住民向けに施設の概要や入所状況をホームページやパンフレット等で周知

新規パンフレット作成…来園者や公共施設に配布・設置

入所者の活動やボランティアの慰問の様子をホームページで紹介

平成２７年度年度ホームページ掲載回数　５６回

・行政や地域との連携

大幡福祉の会“輪”に参加　　４回

鶴居校区ネットワーク会議に参加　　１回

入所者家族と関係事業所との連携会議に参加　２回

②入所者の生きがいにつながる活動の展開と地域資源としての施設の地域貢献活動の取り組み

・施設外活動やボランティアの受入への積極的な取り組み

（夏ボラ）　中津東高校　２名

（春ボラ）　中津北高校４名　、中津東高校　１名

（鶴居小３年生８７名）年間４回のふれあい活動

（各種団体）慰問回数　１３回

ひかり保育園の慰問

・生きがい活動と地域貢献活動の取組み

交通安全立哨　入所者・職員　月１回１２回

道の駅除草作業　入所者４名　年間１９１時間

ふくしまつりでの物品等販売による収益金の活用

（生活困窮者への食事の提供　３名）

さんぽ事業への協力とおやつの提供

ユニバーサルポタリング大会での湯茶接待

さんぽ　かき氷の提供

「取組み成果」

養護老人ホーム中津市豊寿園を平成２６年１０月に受託し一年半が過ぎました。

受託時は６０名定員に対し２７名の入所者でのスタートでしたが平成２７年度末には３６名になり、受入れ目標３５名を達成しました。

養護老人ホーム（措置制度）の周知として、近隣住民や多くのボランティアの受入れを行い、地域の行事にも参加するなど積極的な交流活動を行ってきました。

このように社会との繋がりを持つことで入所者の自立への意欲促進や孤独感の解消となり、生きがいにつなげることが出来たと思われます。また活動による自主財源を確保して、生活困窮者への食事の提供など行い、社会貢献活動にも取組んできました。

そして更に平成２９年度完成の新施設への移行に向け、新たな活動を模索していきたいと考えています。

Ⅲ　“生きがい”につながる福祉活動とボランティア活動

一人ひとりの地域住民の方々の力が最大限に発揮することができ、それぞれが生きがいを持って地域の福祉活動やボランティア活動に参加できるような研修会や環境整備を行いました。

寄り合いの場（サロン）同士の連携強化やモチベーションアップのための合同研修会やボランティア･市民活動センターに地域住民の方々で組織する運営委員会を初めて立上げ､ボランティア活動が、より活性化するよう地盤固めを行いました。

（１）地域の社会資源を活用した高齢者・障がい者の生きがいづくり

①高齢者・障がい者が交流できる地域行事の企画・支援

・寄り合いの場同士の連携を図る交流研修会の充実

豊後高田市、宇佐市、中津市の３市のサロン関係者が集い、サロンの活動内容や新しいレクレーション活動の紹介、お互いの情報交換を行い、交流を深めました。

サロンだよ！全員集合

（２）ボランティアをしたいという想いをカタチにするためのボランティア・市民活動センター機能の強化

①ボランティア・市民活動センター運営委員会設置・運営の確立

・運営委員会の立上げと運営

ボランティア・市民活動センターの機能強化を目指し、ボランティア・市民活動関係者や当事者団体、学識経験者などの第三者による運営委員会を設置し、活動を支えていくセンターとしての、基盤整備を行いました。

ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ・市民活動ｾﾝﾀｰ運営委員会

Ⅳ　地域福祉ネットワークの実現

中津市第２次地域福祉活動計画（平成２４年度～平成２８年度）に沿って、地域で福祉活動が活発に行われている中、地域福祉ネットワークの実現のためには、「ひと・もの・情報」が必要であり、支援を行っています。

「ひと」においては、地域の人財育成として、市民後見人や地域福祉コーディネーター、福祉ボランティアの養成を行いました。「もの」においては、場づくりとして、寄り合いの場（サロン）の立上げ支援や地域福祉ネットワーク協議会立上げに向けての支援を行いました。「情報」においては、関係づくりや情報発信として、地域福祉ネットワーク協議会同士の情報交換会や地域福祉講座の開催、最新の情報をホームページに掲載し、地域福祉活動の理解と周知を行いました。

（１）地域の課題解決に向けてつなげられる地域の人財（リーダー）づくり

①福祉課題の解決につながる専門的な知識を身につけることのできる講座の開催・支援

・市民後見人の育成（養成講座の開催・啓発活動の推進）

市民後見人養成講座を開催し、８名が修了しました。
また、既修了者に対して、フォローアップ研修を開催し、更なる知識の向上に努めました。

市民後見推進研修会

②地域の課題に気が付き、それを解決できる機関とつなげることができる「地域福祉コーディネーター」の養成

・地域福祉コーディネーター養成講座の開催

講座を開催し、３１名が参加し、各地区における地域福祉活動への理解と人財育成につながりました。

地域福祉ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄ養成研修

（２）見守り体制や災害対応ができる住民参画の地域福祉ネットワークづくり

①地域住民が集まる場と機会の充実

・住民同士が出会うサロンの立上げ支援、サロン活動内容のさらなる充実

サロンの立上げに向けて支援し、新しく１１カ所が立ち上がり、これまでと合せて８９カ所となりました。今後も継続して支援を行っていきます。

サロンなんぶ開所式

ひだ悠遊サロン発足当日

②広域（１５地区単位）のネットワークと小地域ネットワークの組織化と連携

・地域福祉ネットワーク協議会の全域化（地域福祉圏域１５地区）

協議会準備会への支援や、立上げに向けての合同会議、研修会など企画開催し、ネットワーク協議会の必要性や理解を深めることができました。

・ネットワークにつながる見守り活動の推進

見守りネットワーク活動に係る研修会や見守りネットワーク協議会の先進地研修への支援等を行いました。

③地域の活動や資源に関する情報収集・発信・共有の充実

・地区を超えてサロン団体やネットワーク団体が集まり、活動に関する情報が共有できる場づくり

住民相互の支え合いを考える「地域福祉講座」や、サロンなどの小地域活動の人財の育成を目指した「福祉ボランティア養成講座」を開催し、地域福祉活動の理解などを深めました。　また、地域福祉ネットワーク協議会の合同研修会を開催し、お互いの活動や情報交換を行いました。

山国ふくし男塾

地域福祉講座

Ⅴ　効果的・効率的な経営基盤（組織・人財・財政）の確立

平成２７年度は、災害時の不測の事態に備えて被災者や利用者への支援体制が整えられるように、耶馬渓エリアをモデルとして地域住民や関係機関と共に地域の拠点施設を活用して避難訓練を行い、法人内は勿論、地域住民との繋がり（連携）を図ることができました。

また、住民主体の地域福祉活動を積極的に支援していくため、各種研修会を開催し人財育成に努めました。

〔組織に関すること〕

（１）災害時の地域ニーズに対応できる組織体制づくり

①災害時に職員が迅速に動くためのマニュアル作成

災害時においての行動指針、法人の体制、拠点体制、拠点の動き、マニュアル作成に向けての留意点等の初動指針（案）の作成を行いました。

②各種マニュアルを基に災害対応できる取組みの実施

・災害対応マニュアルを活用した避難訓練の実施

平成２５年度に作成した拠点災害マニュアルを活用して耶馬渓エリアをモデルとして地域住民・行政等の関係機関と協力して、１４０名の参加で水害（洪水）を想定した避難訓練を実施しました。　＊平成２７年６月４日

耶馬渓エリア避難訓練

近隣住民との避難訓練

〔人材育成に関すること〕

（１）地域に信頼される職員を目指した職場環境の改善

・産業医の設置によるメンタルヘルスケア

産業医による定期巡回を行い環境面や健康面での相談体制を行いました。また、定期検診による

診断結果のアドバイス等を行いました。

（２）福祉の専門職集団としての意識醸成のための研修体系の確立

①スキルアップにつながる専門的な研修会の開催

・階層別・職種別の研修会の実施

県社協の学習会支援事業を活用し階層別に必要な基礎知識の研修会を開催しました。

管理職研修会の開催

係長級研修会の開催

主任・副主任研修会の開催

全職員対象人権学習会

②職員としての基礎力向上を目的とした研修の充実

・全体職員研修の実施

これから求められる社会福祉協議会の役割…8 月 22 日

人権学習会の開催…11 月 24 日

接遇・マナーに関する基本的な知識を習得するため外部講師を招いて研修会を実施…2 月 16 日

〔財政に関すること〕

（１）地域福祉事業に有効活用できる自主財源を確保するために多様な取り組みの実施

①社協会員制度の拡充

・中津市全域における社協会員制度導入に対する取り組み

共同募金説明会時に、社会福祉協議会の事業内容についての説明会を１１校区で開催し、理解周知を図りました。また、社協だより発行に併せ、本会の事業内容を掲載した冊子を作成して市内全戸配布を行い、本会事業及び会員制度の周知を図りました。

（２）地域に密着した地域福祉事業運営方針と収支管理体制とが一体となった経営体制の確立

①迅速かつ的確な判断ができる「収支管理体制」の確立

・新会計基準に即した財政運営の実施

平成２７年度は新会計基準に基づいた予算で計画的な執行を行い、国が求めている事業活動状況の透明化を図り事業運営を行いました。

平成２７年度　中津市社会福祉協議会　事業報告書

１．理事会・評議員会

中津市社会福祉協議会の運営にあたり、理事会・評議員会・監事会を開催しました。
提案された議案については、原案どおりすべて承認されました。

［理事会の開催］

第 １ 回　平成２７年５月２５日（月）　１４時００分から　会場　中津市教育福祉センター　中会議室ＡＢ
　第１号議案　平成２６年度事業報告について
　第２号議案　平成２６年度決算報告について
　　（監査報告）
　第３号議案　平成２７年度第１次補正予算（案）について
　第４号議案　定款の一部変更について
　第５号議案　評議員の選任について

第 ２ 回　平成２７年９月２４日（木）　１４時００分から　会場　中津市教育福祉センター　中会議室ＡＢ
　第１号議案　中津市特別養護老人ホーム「中津市特別養護老人ホームやすらぎ荘」施設長の任免について

第 ３ 回　平成２７年１１月６日（金）　１０時００分から　会場　中津市教育福祉センター　中会議室ＡＢ
　第１号議案　平成２７年度第２次補正予算（案）について

第 ４ 回　平成２８年２月９日（火）　１３時００分から　会場　中津市教育福祉センター　中会議室ＡＢ
　第１号議案　平成２７年度第３次補正予算（案）について
　第２号議案　評議員の選任について
　第３号議案　就業規則の一部改正について
　　報告事項：特定個人情報取扱規程の制定について

第 ５ 回　平成２８年３月２９日（火）　１３時００分から　会場　中津市教育福祉センター　中会議室ＡＢ
　第１号議案　平成２７年度第４次補正予算（案）について
　第２号議案　平成２８年度事業計画（案）について
　第３号議案　平成２８年度当初予算（案）について
　第４号議案　評議員の選任について

［評議員会の開催］

第 １ 回　平成２７年５月２８日（木）　１０時００分から　会場　中津市教育福祉センター　多目的ホール
　第１号議案　平成２６年度事業報告について
　第２号議案　平成２６年度決算報告について
　　（監査報告）
　第３号議案　平成２７年度第１次補正予算（案）について
　第４号議案　定款の一部変更について
　第５号議案　理事の選任について

第 ２ 回　平成２７年１１月６日（金）　１６時３０分から　会場　中津市教育福祉センター　多目的ホール
　第１号議案　平成２７年度第２次補正予算（案）について

第 ３ 回　平成２８年２月１０日（水）　１４時００分から　会場　中津市教育福祉センター　多目的ホール
　第１号議案　平成２７年度第３次補正予算（案）について

第 ４ 回　平成２８年３月３０日（水）　１０時００分から　会場　中津市教育福祉センター　多目的ホール
　第１号議案　平成２７年度第４次補正予算（案）について
　第２号議案　平成２８年度事業計画（案）について
　第３号議案　平成２８年度当初予算（案）について
　第４号議案　役員の選任について

［監査会の開催］

平成２７年５月１４日（木）　１３時３０分から　中津市教育福祉センター　中会議室AB
結　果：事業状況、収支決算状況とも特に指摘事項なし

２．会費、寄付金及び共同募金

社会福祉協議会の事業運営にあたり、その主な財源をなす寄附金及び募金収入の概要は次のとおりです。

１）会費（会員）

一般会費　4,605口　4,740,500円

特別会費　120口　600,000円

合　計　4,725口　5,340,500円

（単位：円）

地区	一般会費		特別会費	
中津	－	－	120口	600,000円
三光	1,334口	1,470,000円	0口	0円
本耶馬渓	1,020口	1,020,000円	0口	0円
耶馬渓	1,382口	1,381,500円	0口	0円
山国	869口	869,000円	0口	0円
計	**4,605口**	**4,740,500円**	**120口**	**600,000円**

２）寄付金

香典返し　322件　10,256,000円

一般寄附　53件　1,373,045円

合　計　375件　11,629,045円

（単位：円）

地区	香典返し		一般寄附	
中津	173件	4,901,000円	42件	1,076,047円
三光	33件	805,000円	1件	5,660円
本耶馬渓	36件	1,220,000円	3件	24,829円
耶馬渓	47件	1,830,000円	4件	115,593円
山国	33件	1,500,000円	3件	150,916円
計	**322件**	**10,256,000円**	**53件**	**1,373,045円**

３）物品寄付

軽車両（デルタ）	1	台	1,440,000円
ギフトカード	1	件	11,300円
電動ベッド一式	2	台	380,000円
車イス	8	台	388,000円
座長大会チケット	30	枚	180,000円
タオル	300	枚	30,000円
バスタオル	1	枚	5,000円
軽車両（日本財団）	1	台	430,000円
シルバーカー（押し車）	1	台	10,000円
山国かるた	36	セット	108,000円
額縁（大分とんぼの会）	30	枚	180,000円

物品寄付額（相当額）　3,162,300円

４）中津市共同募金委員会への協力

赤い羽根共同募金　20,850件　8,903,324円

歳末たすけあい募金　21,463件　6,248,743円

合　計　42,313件　15,152,067円

（単位：円）

募金種類	赤い羽根共同募金		歳末たすけあい募金	
戸別募金	20,844件	8,709,456円	20,844件	3,773,884円
街頭募金			4件	73,712円
法人募金	1件	29,630円	579件	2,220,924円
職域募金	2件	149,365円	1件	241円
イベント募金			1件	13,537円
その他募金	2件	14,868円	34件	166,445円
預金利息	1件	5円		
計	**20,850件**	**8,903,324円**	**21,463件**	**6,248,743円**

［戸別募金内訳］

地区	赤い羽根共同募金		歳末たすけあい募金	
旧中津市内	16,033件	6,689,796円	16,033件	2,907,964円
三光	1,524件	640,080円	1,524件	274,140円
本耶馬渓	1,051件	440,880円	1,051件	189,300円
耶馬渓	1,388件	582,960円	1,388件	249,840円
山国	848件	355,740円	848件	152,640円
計	**20,844件**	**8,709,456円**	**20,844件**	**3,773,884円**

・大分グルメ散歩募金（大分県共同募金事業） 251品（146,930円）販売の内、29,630円を募金協力頂きました。

・期間外募金30,328円（自動販売機手数料：30,165円、銀行利息：163円）につきましては、28年度計上。

５）中津市共同募金委員会への協力（災害義援金）

長野県神城断層地震災害義援金	314円
屋久島町口永良部島新岳噴火災害義援	1,739円
茨城県台風18号等災害義援金	51,061円
平成27年度台風第18号による大雨災害	14,821円
台風21号与那国町災害義援金	4,301円
合　計	72,236円

３．住民主体による小地域ネットワークの推進

１）寄り合いの場支援

交流・関係づくり・介護予防を目的に行われている住民主体の寄り合いの場活動として支援。
（全地域で支援を行っています。）

中津市全体	89ヵ所	寄り合いの場の種類・新規内訳
地域サロン	5ヵ所	地域の中の民家や空き家等を活用し、開催回数も週単位で、日常生活に密着した活動
ミニデイサービス	8ヵ所	小・中学校の範囲で、いきいきサロンの広域版である「交流型」と生きがいややりがいをテーマとした「活動型」
いきいきサロン	76ヵ所	自治区や集落等の小地域で、高齢者等を対象にしながら、住民同士の交流の場として実施

・内新規分　11 ヶ所（南部）サロンなんぶ　（今津）ふれあいサロンあい☆いまづ　（大幡）榊原元気クラブ　（本耶馬渓）ひだ悠遊サロン
（耶馬渓）おしゃべり場（ＢＡＲ）、 下戸原サロン「たっとまり」、サロン一ッ戸
（山国） 婦人警防藤野木斑やすらぎ、犬王丸ふれあいサロン、殿畑の会、みさとサロン

２）地域福祉ネットワーク協議会構築支援

地域の社会資源や人材のネットワークを図り、住民一人ひとりが主体的に地域の社会福祉に参加・協力しながら、地域の身近な「支えあい・助け合い」活動を支援。

○地域福祉ネットワーク協議会の組織状況　（地区内の地域福祉推進活動）

No.	校区地区	組織名称（校区ネット）	発足年月日	定例会	事務局会議等	校区ネット	小地域ネット	２７年度の主な動き	以前より継続している動き
1	南部	南部地区ネットワーク協議会ぽけっと	平成18年10月 ↓ 平成24年4月	随時	第1火曜日	1	0	・新規サロン立ち上げ支援 ・公民館まつりでバザー ・住民対象研修会「障がいをもつという事」 （2/8：参加者30名）	・情報紙の発行（年3回） ・サロンの支援 ・ネットワーク総会、研修会 ・コーディネーターの設置 （毎週土曜日）
2	北部	（未定）				－	－	・地区防災訓練実施 ・週一体操教室の取組み	・寄り合いの場、協議体のあり方を検討
3	小楠	（未定）				－	－	・新築したコミュニティーセンターを拠点にしたサロンについて検討	・計画作業部会員有志をベースとしたネットワーク立ち上げについて検討
4	豊田	「生き活き・豊田」	平成22年12月	随時	随時	1	0	・宮永4丁目防災マップ確認作業 ・豊田カフェ（世代間交流他）	・ネットワーク総会 ・校区内を６地区の合議体として必要な活動への取組み ・ふるたさん家立ち上げ（支援）
5	沖代	沖代校区ネットワーク協議会（事務局：あいがも）	平成18年9月	随時	第4水曜日	1	0	・研修会開催「お笑い防犯講座」（10/6：ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ参加全員68名） ・3/29おむすび会議（住民座談会）共催として協力	・情報紙の発行（年3回） ・ネットワーク総会、研修会 ・コミュニティーセンター運営 ・コーディネーター設置 （毎週水曜日）
6	鶴居	鶴居校区ネットワーク協議会	平成26年4月	随時	第2火曜日 （2ヶ月1回）	1	1	・住民対象研修会「お笑い防犯講座」（9/11：参加者25名） ・新規サロン立ち上げ検討	・ネットワーク総会、研修会 ・新規サロン立ち上げ支援 ・見守り活動の組織化についての検討
7	大幡	大幡福祉の会 “輪”	平成20年1月	月1回	随時	1	0	・地域福祉研修会開催 （7/14：参加者　約60名）	・月１回の定例会により、地域福祉活動計画の推進を図る ・地域福祉研修会の開催 ・社会資源リスト全戸配布 ・災害時要援護者マップの更新 ・支え合いの大切さを地域に伝えるため、支え合い広報誌を自治委員の総会時に配布
8	如水	如水ふれ愛の会	平成19年2月	随時	第2火曜日	1	0	・サロン＝ネットワークとなっているため、ネットワーク協議会としてのあり方を検討	・如水サロンふれ愛の支援
9	三保	（未定）				－	－	・小地域活動の展開検討	・H23.4以降、地域福祉活動計画作業部会で検討
10	和田	(和田福祉部会：準備中)		第2木曜 （2ヶ月1回）	随時	－	－	・2ヶ月に1回定例会開催 ・情報紙発行	・作業部会員有志で「和田地区地域福祉部会（仮称）」発足 ＊偶数月で開催 ・田尻地区いきいきサロン支援
11	今津	福祉の郷 「いまづ」	平成21年1月	奇数月	随時	1	0	・いきいき今津まちづくり協議会と福祉の郷「いまづ」のあり方についての検討 ・いきいきサロンあい☆いまづの立ち上げ	・防災をテーマにした地域づくり ・視察の受入 ・災害対策、自主防災組織についての研修
12	三光	（ふくしの里“ややま”：準備中）			随時		0	・15地区でのサロン活動 ・小地域ネットワーク会議 （8/1～）（2/1～）	・15地区でのサロン活動 ・小地域ネット会議（年２回） ・ネットワークの準備として事務局体制づくり
13	本耶馬渓	（ふれ愛ネットワーク推進委員会）					17	・17地区単位での見守り活動、交流活動 ・ふれ愛ネットワーク研修会 ・ネットワーク協議会立上げに向けての話し合い ・屋形地区合同防災避難訓練（1/17）	・17地区単位での見守り活動、交流活動 ・各地区で防災訓練実施
14	耶馬渓	耶馬渓町地域見守りネットワーク協議会	平成23年5月	随時	随時		12	・代議員会（7/14） ・視察研修(7/23竹田、12/7佐伯) ・見守り研修会 （三尾母・柿坂・平田・下郷他） ・防災訓練（城井･深耶馬・下郷） ・薬剤師会、保健所と連携（山移）	・12地区単位で見守り活動、代表の情報交換会、研修会実施 ・会長・事務局会議 ・防災活動講師派遣
15	山国	源流の郷やまくに福祉の会	平成22年10月	随時	随時		0	・山国住民アンケート「山国地域の未来を考えるアンケート」の集計、分析 ・ネットワーク会議 （5/22、8/6） ・熊本県玉東町社協、介護ホーム「はぶの」視察研修 （12/19）	・4地区単位を基本に活動を展開 ・H23.4～の溝部地区寄り合いの場“たいしょう陣”開催 ・買い物支援事業への理解 ・ネットワーク会議

※他の地区でも地域福祉推進活動は進んでいます。社協は地域福祉推進活動や協議会の支援を行っています。

３）災害にも強い地域づくり活動支援

『災害にも強い地域づくり』を目指し、地震による災害を想定した発生対応型訓練を実施することにより、住民一人ひとりの防災に関する意識の高揚と防災行動力の向上と安否確認機能（見守り体制の強化）を図ることを目的。

対象地区	実施内容	期日	参加者数	備考
耶馬渓城井（口の林）	防災教室	平成27年4月5日	25名	新規
耶馬渓城井（木の子）	防災教室	平成27年5月16日	40名	新規
耶馬渓城井（上宮の馬場）	防災訓練・教室	平成27年7月3日	30名	
耶馬渓深耶馬（岩屋・大城周辺）	防災教室	平成27年10月21日	10名	
耶馬渓城井（戸原）	避難訓練・教室	平成27年11月22日	60名	
本耶馬渓屋形地区	防災訓練・教室	平成28年1月17日	100名	新規
耶馬渓下郷（大島台）	防災訓練・教室	平成28年3月20日	30名	新規

４）各種団体等助成金交付事業

市内において社会福祉を目的として、各種団体やボランティアグループ等が実施する様々な社会福祉貢献活動や事業に対して助成金の交付を行う事業

区　　分	件数	助成額	助成内容
住民型有償サービス活動助成	3件	360,000円	住民主体の在宅福祉サービス（家事援助・身体介護等）団体への活動助成
小地域福祉活動助成	29件	2,128,800円	見守り活動及び交流活動を行うために、自治区単位で組織されている団体への活動助成
地域福祉推進活動助成（市）	3件	386,000円	地域の福祉課題の解決を目指すべく組織された地域福祉ﾈｯﾄﾜｰｸ協議会への活動助成
地域福祉推進活動助成（歳末）	6件	450,000円	地域の福祉課題の解決を目指すべく組織された地域福祉ﾈｯﾄﾜｰｸ協議会への運営助成
ボランティア活動助成	55件	1,650,000円	会員が自発的に明確な意思・目的をもって結成し、活動している団体への活動助成
寄り合いの場活動助成	83件	3,279,000円	地域の寄り合いの場（地域サロン等）への活動助成　（内県事業：80,000円）
一般公募助成	5件	853,000円	高齢者・障がい者（児）・子ども・防災など事業への助成（1団体上限30万円）
公民館助成	15件	225,000円	校区（地区）公民館を対象に、地域福祉の拠点や活動の連携を図る目的として助成
民生委員児童委員活動助成	15件	1,061,100円	共同募金（企業募金）実績に基づき助成
自治委員活動助成	15件	1,889,801円	共同募金と歳末たすけあい募金（戸別）実績に基づき助成
ボランティア推進校助成	10件	300,000円	小中高学校が取り組む福祉活動・ボランティア活動に対する助成
合計	**239件**	**12,582,701円**	

４．相談機能の強化による在宅福祉サービスの充実

１）障がい者福祉サービス事業

障がいをもつ方に対して、ホームヘルプサービスを実施。

①身体障がい者居宅介護事業

延利用者数　69名　　延利用回数 971回　　延活動時間数 1,233時間

本耶馬渓	25名	本耶馬渓	175回	本耶馬渓	341時間
耶馬渓	44名	耶馬渓	796回	耶馬渓	892時間

②知的障がい者居宅介護事業

延利用者数　18名　　延利用回数 176回　　延活動時間数 176時間

耶馬渓	18名	耶馬渓	176回	耶馬渓	176時間

③精神障がい者居宅介護事業

延利用者数　12名　　延利用回数 156回　　延活動時間数 156時間

本耶馬渓	12名	本耶馬渓	156回	本耶馬渓	156時間

④同行援護事業

延利用者数　76名　　延利用回数 260回　　延活動時間数 375時間

本耶馬渓	54名	本耶馬渓	145回	本耶馬渓	240時間
耶馬渓	22名	耶馬渓	115回	耶馬渓	135時間

２）移動支援事業

自宅に引きこもりがちな障がいをもつ方の外出を支援するサービス。

延利用者数　31名　　延利用回数　81回　　延活動時間数 208時間

本耶馬渓	31名	本耶馬渓	81回	本耶馬渓	208時間

３）障がい児長期休暇支援事業（さんぽ）

市の受託事業として、障がい児の健全育成、夏休みの長期休暇時の預かりにる家族の介護負担の軽減と市民の障がい児への理解と人材育成を目的とした事業（市受託事業）。

・延利用者数　161名

・延ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ数　211名

開催日数	20日
利用者数	21名
ボランティア	169名
スタッフ会議開催	2回

４）障がい児（者）余暇活動支援事業（てくてく）

余暇を充実して過ごすための活動の場を提供することで、障がい児者の心身の健康増進と自立のための能力の獲得を目的とした事業（市受託事業）。

・延利用者数　306名

・延ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ数　19名

開催回数	12日
実利用者数	37名
実ボランティア	11名

５）福祉用具貸出事業

在宅での要支援者や障がい者等に対して、福祉用具を貸与し、本人や介護者の負担を軽減するなど、在宅生活の便宜を図る。

【電動ベッド】

・貸出総数　175台

・保有台数　188台

新規

中津	24件
三光	3件
本耶馬渓	2件
耶馬渓	16件
山国	17件
計	62件

【車椅子】

・貸出総数　129台

・保有台数　178台

新規

中津	102件
三光	2件
本耶馬渓	3件
耶馬渓	8件
山国	14件
計	129件

H28.3.31現在

６）見守りふれあい事業

各種団体や小中学校と連携し、一人暮らし高齢者及び高齢者世帯等に対して、はがきや配食を通じて交流をおこなっています。

（1）ふれあい郵便事業

対象世帯数 397世帯　　発送部数　1,250通

耶馬渓	245世帯
山国	152世帯

耶馬渓	490通	（年2回）
山国	760通	（年5回）

（2）ふれあい配食事業

対象世帯数　370世帯　　配食数　632食

本耶馬渓	240世帯
山国	130世帯

本耶馬渓	242食	（年1回）
山国	390食	（年3回）

７）介護保険事業

①介護老人福祉施設事業（中津市特別養護老人ホームやすらぎ荘）

「常によりよい介護サービス・福祉サービスの提供を ！ 」をモットーに、65歳以上で身体や精神上の障がいのため常に介護が必要で、在宅での介護が困難な人が対象の事業となります。特に食事、排せつ、入浴など日常生活の介助や健康管理・リハビリ・療養上のケアなどを受けながら有意義な日々を送っていただいております。

（本入所）・・・定員　80名

	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サービス実施状況	日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	29日	31日	366日
	実人数	81人	83人	80人	80人	81人	81人	81人	81人	80人	81人	81人	80人	101人
	延べ人数	2,327人	2,342人	2,259人	2,355人	2,309人	2,294人	2,412人	2,372人	2,428人	2,358人	2,252人	2,407人	28,115人

②短期入所生活介護事業（中津市特別養護老人ホームやすらぎ荘）

冠婚葬祭や旅行などで介護ができないときに利用したり、介護疲れを防ぐために定期的に利用することができます。食事や入浴、排泄など日常生活の世話やレクリエーション、リハビリなどが受けられます。

（短期入所）・・・定員　20名

	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サービス実施状況	日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	29日	31日	366日
	実人数	29人	29人	25人	25人	27人	29人	32人	30人	31人	29人	25人	28人	51人
	延べ人数	436人	401人	391人	398人	408人	442人	432人	380人	451人	435人	395人	425人	4,994人

③訪問介護事業

要支援者及び要介護者に対して、ホームヘルプサービスを実施。

実利用者数　178名

本耶馬渓	55名
耶馬渓	123名

延利用回数　12,464回

本耶馬渓	3,380回
耶馬渓	9,084回

延訪問時間　10,577時間

本耶馬渓	2,743時間
耶馬渓	7,834時間

④通所介護事業

要支援者及び要介護者に対して、デイサービスを実施。

（通常型）開設日数　1,217日　日/年　　実利用者数　463名　　延利用人数　24,234名

三光	304日
本耶馬渓	304日
耶馬渓	307日
山国	302日

三光	73名
本耶馬渓	103名
耶馬渓	149名
山国	138名

三光	3,954名
本耶馬渓	6,444名
耶馬渓	6,894名
山国	6,942名

（緩和型）開設日数　120日　日/年　　実利用者数　22名　　延利用人数　200名

三光	41日
耶馬渓	60日
山国	19日

三光	10名
耶馬渓	9名
山国	3名

三光	98名	平成27年11月より実施
耶馬渓	83名	平成27年10月より実施
山国	19名	平成27年12月より実施

⑤訪問入浴介護事業

要支援者及び要介護者に対して、訪問入浴サービスを実施。

実利用者数　19名

三光	16名
耶馬渓	3名

延利用回数　454回

三光	366回
耶馬渓	88回

⑥居宅介護支援事業

要支援者及び要介護者に対して、介護計画書を作成。

ケアプラン作成件数　3,745件　件/年

本耶馬渓	1,417件
耶馬渓	1,161件
山国	1,167件

8）生きがい活動支援通所事業

在宅の要援護高齢者や身体障がい者で自立の困難な者に対して、自立的生活の助長、社会的孤立感の解消、心身維持向上などを図るとともに、その家族の身体的・精神的負担の軽減を図る。

延利用者数　974名

三光	351名
耶馬渓	444名
山国	179名

延利用回数　3,527回

三光	1,327回
耶馬渓	1,613回
山国	587回

9）軽度生活援助員派遣事業

ひとり暮らし高齢者等に対して、身の回りの世話や介護の援助を行い利用者の生活支援や健康維持を図る。

延利用者数　163名

本耶馬渓	43名
耶馬渓	120名

延利用回数　617回

本耶馬渓	174回
耶馬渓	443回

延活動時間数　707時間

本耶馬渓	219時間
耶馬渓	488時間

１０）高齢者生活福祉センター事業

高齢者に対して、介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供し、高齢者が安心して健康で明るい生活が送れるよう支援。

利用者数　49名

本耶馬渓	15名
耶馬渓	12名
山国	22名

短期入所利用者数　15名

本耶馬渓	7名
耶馬渓	6名
山国	2名

１１）老人福祉施設養護老人ホーム運営事業

老人福祉施設事業　（養護老人ホーム中津市豊寿園）

本施設は、平成26年10月1日より指定管理者制度により中津市から運営を受託しています。経済的理由、環境上の理由により自宅で生活が困難と判断された、65歳以上の自立した高齢者の方が対象の施設です。地域福祉を推進する社会福祉協議会として、地域に開かれた施設経営を展開し、地域住民参加の活動を計画し地域交流を深め、また入所者の生きがいにつながる取組みを積極的に推進しています。

定員・・・60名

サービス実施状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	29日	31日	366日
	入所者実数	34人	32人	30人	30人	30人	32人	32人	31人	36人	35人	36人	36人	43人
	延べ人数	1,012人	1,017人	925人	930人	930人	909人	978人	955人	1,054人	1,090人	1,022人	1,116人	11,938人

１２）地域包括支援センター事業

市内５つの包括支援センターのひとつ「地域包括支援センター社協」。三光・本耶馬渓・耶馬渓・山国の４地区に事業拠点を配置。

(1)包括的支援事業

①総合相談支援業務

高齢者が、住み慣れた地域で安心して生活ができるようさまざまな相談に応じる

相談件数	3,650件

②権利擁護業務

高齢者が尊厳を持って生活できるように、虐待や困難事例への対応及び成年後見制度の活用を行う

対応件数	541件

③包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域のケアマネへの指導助言や多職種連携によるケアマネジメント体制を作る

・包括的・継続的なケア体制の構築	188回
・地域における介護支援専門員のネットワークの活用	35回
・日常的個別指導・相談	125回
・支援困難事例等への指導・助言	17回
合計	365回

(2)介護予防事業普及啓発事業

高齢者を介護している方や地域支援者等 一般住民に対して、介護・福祉サービスや介護予防について普及啓発を図る

○介護予防教室の開催

・ 実施回数	2回
・ 延利用者数	155名

○介護予防の講演会・相談会

・ 実施回数	21回
・ 延利用者数	456名

○住民の自主的な活動の場の立ち上げ支援についての活動

・実施回数	19回
・関わった組織	1か所

(3)介護予防支援業務

要支援1.2の方に対する介護予防サービス計画作成に関する業務

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数	452件	374件	320件	387件	364件	235件	336件	249件	305件	299件	230件	212件	3,763件
作成件数	233件	214件	213件	199件	193件	182件	178件	175件	164件	157件	143件	136件	2,187件

介護予防・日常生活総合支援事業の方に対するサービス計画作成に関する業務

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数	70件	124件	125件	113件	136件	202件	267件	264件	265件	314件	347件	336件	**2,563件**
作成件数	12件	30件	43件	54件	64件	76件	85件	92件	101件	110件	133件	148件	**948件**

(4)各種調査業務

①「食」の自立支援事業実態調査	調査件数	28件
② 住宅改修理由書作成		13件
③ 生きがい活動支援通所事業実態調査及び相談		11件
④ 軽度生活援助員派遣事業実態調査及び相談		2件
⑤ 緊急通報用電話貸与事業実態調査及び相談		27件
⑥ 老人日常生活用具給付等事業実態調査及び相談		3件

１３)合併周辺地域総合相談支援センター事業

合併周辺地域総合相談支援センターとして、本耶馬渓・耶馬渓・山国エリアにおいて、障がい者・児の総合相談支援業務を行う

相談件数　**906件**　相談実人員　**208人**

- 障がい者　880件
- その他　26件

障がい者の障がい別　内訳　**906件**

- 身体障がい　630件
- 知的障がい　44件
- 精神障がい　203件
- 高次脳機能障がい　3件
- 発達障がい　0件
- その他　26件

１４)認知症地域支援推進事業

２７年度からの新規委託事業。包括支援センター内に認知症地域支援推進員を置き、認知症患者・家族に対する支援と認知症理解に向けた地域づくりを行なう。

（１）人員配置

・ 認知症地域支援推進員	1名
・ 嘱託医	1名

（２）会議・研修会参加

項目	回数	内容
認知症地域支援推進員等連絡会議	4回	大分県主催の会議。大分県の認知症施策の説明、推進員の活動、見守りＳＯＳネットワークの構築、生活支援コーディネーターとの連携などについて
その他の会議・研修	4回	認知症疾患医療連携会議、若年性認知症相談体制強化研修会等

（３）各種取り組み

①徘徊模擬訓練

項目	回数	内容
実行委員会会議	4回	本耶馬渓地区内の地域住民・商工会・警察・福祉施設・行政との実行委員会を組織し、当日までの準備と終了後の振り返りを行なう
本耶馬渓高齢者徘徊模擬訓練	1回	12月18日（日）本耶馬渓町の3エリア（上曽木・青・樋田）を対象に、認知症を正しく理解し適切な声かけをする訓練。　参加者数101名。

②オレンジカフェ

・認知症患者、家族、地域住民、専門職等が集い、共に楽しんだり、理解し合い、つながり再構築の場として開催。

地区	三光	本耶馬渓	耶馬渓	山国	計
開催場所数	1ヵ所	2ヵ所	2ヵ所	1ヵ所	6ヵ所
開催回数	4回	6回	4回	4回	18回

・認知症カフェ連絡会

回数	内容
1回	中津市内のオレンジカフェ関係者（医療機関、介護保険事業所、包括、市役所、ボランティア等）が集い、意見交換・情報共有。3/9実施。いずみの園との共同開催。参加者：33名。

③認知症家族介護者の集い

認知症患者を介護している家族に対し、同じ立場の人同士での交流や意見交換の場をつくり、心のケアや介護負担の身体的精神的軽減を図る。

地区	三光	本耶馬渓	耶馬渓	山国	計
開催回数	0回	0回	1回	1回	2回

④個別相談対応

個別訪問、家族との話し合い、医療機関へのつなぎ、福祉サービスへのつなぎ　等

地区	三光	本耶馬渓	耶馬渓	山国	計
対応件数	3件	1件	1件	0件	5件

⑤普及啓発活動

・広く住民に対する理解促進

項目	回数	内容
認知症講演会	1回	『認知症になっても最期まで住みなれたまちで生き生きと暮らせる中津市を目指して』 10/20実施。講師：老人保健施設「健寿荘」施設長 増井玲子氏。参加者：68名。

・小地域ネットワーク会議などに出向き、推進員の業務や認知症予防について説明

地区	三光	本耶馬渓	耶馬渓	山国	計
回数	3回	1回	1回	0回	5回

１５）生活福祉資金貸付事業

低所得者や障がい者世帯に対し、経済的自立と生活意欲の助長促進を図り、安定した生活が営めるよう資金面の支援と、相談等を行う事業。申請の95%が緊急小口資金という現状。

資金種類		相談延件数	申請件数	決定	決定金額
総合支援資金	生活支援費	2	0	0	0円
	住居入居費	1	0	0	0円
	一時生活再建費	0	0	0	0円
福祉資金	福祉費	37	2	2	3,130,000円
	緊急小口資金	195	64	64	5,783,000円
教育支援資金	教育支援費	7	0	0	0円
	就学支度費	8	0	0	0円
不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金	2	0	0	0円
	要保護世帯向け不動産担保型生活資金	0	0	0	0円
臨時特例つなぎ資金		1	1	1	50,000円
合　　計		253	67	67	8,963,000円

※要保護世帯向け不動産担保型生活資金については、県社協が直接担当します。

１６）総合相談支援事業

（１）総合相談受付

生活に何かしらの支援が必要な方への相談対応。

相談受付件数計		390件	※実数（相談によっては複数回の継続支援も実施）
内訳	生活不安	128件	※精神的な不安、日常的な支援（有償サービス）の希望等
	権利擁護	8件	※成年後見制度に関する問い合わせ
	子ども・子育て	2件	※子供の問題、子育て支援等に関すること
	介護・高齢	203件	※介護保険利用前の相談など
	障がい	13件	※障がい関係全般
	その他	36件	※話し相手、市内の福祉状況問合せ、相談窓口問合せ等

（２）心のケア事業（ほっとテラス）

医師・心理カウンセラーによる、住民の抱える不安や福祉ニーズへの対応、また、家族関係・人間関係など各種相談に応じる専門相談事業。

担当	相談形式	相談開設回数	相談者数
橋本　眞子医師 （精神科医）	毎月第2水曜午後、原則2名までの相談を予約により受付	7回	10名
松尾　浩氏 （心理カウンセラー）	毎週水曜、市内各社協事務所を拠点に予約に応じて相談を受付	5回	5名

（３）生活困窮者自立支援事業

平成26年度モデル事業として受託。平成27年度からは、さまざまな生活困難な状況について継続的な相談支援をすると同時に、社会的孤立を防ぐ地域づくりを行なう事業。

①相談支援実績

実相談者数	230件

月別件数

平成27年4月	平成27年5月	平成27年6月	平成27年7月	平成27年8月	平成27年9月	平成27年10月	平成27年11月	平成27年12月	平成28年1月	平成28年2月	平成28年3月	合計
21件	31件	17件	21件	20件	23件	15件	14件	11件	24件	11件	22件	230件

相談種別 ※平成２７年度の種別内訳。重複あり

病気、けんこう、障がい	住まい	収入・生活費	家賃・ローンの支払	税金や公共料金等の支払	債務	仕事探し、就職	仕事上の不安やトラブル	地域との関係	家族・人間関係
49件	23件	100件	18件	33件	16件	46件	6件	19件	27件

子育て	介護	ひきこもり・不登校	DV・虐待	食べる物がない	その他	合計
13件	12件	2件	5件	11件	5件	385件

※その他については、他機関との連携や不安の訴え等

②一時生活支援事業

ホームレスの人への緊急一時的な宿泊費と衣食の支援（現物給付）

事業実施者数	7名

③会議・研修会の開催

事業項目	回数	内容
生活困窮者自立支援会議	８回	生活困窮者自立支援制度推進検討会議・生活困窮者自立支援事業担当者連絡協議会・生活困窮者自立支援制度相談支援従事者研修企画会議（５/１３）平成27年度生活困窮者事業者等担当者連絡協議会研修・企画検討会議（６/１９・８/２４・９/２９・１０/１５・１０/１６）
生活困窮者支援連絡会	２回	生活困窮者九州ブロック会議傍聴（１１/２０）大分刑務所との連携調整会議（２/４）
福助ネット会議	９回	６/２９・8/１０・9/３０・１０・２９・１１/２７・１２/２４・H２８/1/２１・2/２９・3/２２　経済的困窮のみならず、複合的な課題を抱える生活困窮者を幅広く支援する為、『生活困窮自立支援制度』に係る機関と『おおいた“くらしサポート事業”』に係るCSWと連携し、相談者に対する効果的な支援を行うため、定期的な連携会議を開催。
ハローワークとの連携会議	２回	１０/３０・１２/１８　生活困窮者の就労問題について意見交換を行い、就労先紹介、情報共有等を行う。また、ハローワークと耶馬溪地域でのおしごと相談会にて協働し、生活困窮者の発掘と就労による自立支援を図る。
制度・事業に関する普及啓発他機関連携・研修参加等	１７回	各地域による民児協定例会への参加、社会福祉部会等の講義。来所者や関係者に事業説明を行う。精神保健福祉センターにてひきこもり等事例検討会。

１７）福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートセンター中津）

認知症等高齢者や知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方を対象に、日常生活を営むのに必要なサービスを利用するための情報の入手、理解、判断、意思表示を適切に行えるよう支援を行う。

・相談支援対応件数　　5,118件

内　訳
- ・初回相談受付・問い合わせ対応
- ・契約締結までの間の訪問、支援計画の作成、連絡調整
- ・利用開始後の相談対応
- ・その他、総合的な相談対応等

・新規契約 25件　・解約者　　14件

契約者数（3/31現在）　　67名

内訳	居住エリア別		居住状況別		世帯経済状況別		年齢別		障がい種別	
	中津	36名	在宅	36名	生活保護	18名	65歳以上	44名	認知症	35名
	三光	8名								
	本耶馬渓	2名	施設	27名	非課税	48名	40～64歳	17名	知的障がい	17名
	耶馬溪	10名								
	山国	9名	病院	4名	課税	1名	39歳未満	6名	精神障がい	8名
	その他※	2名								
	※…契約している方が宇佐・高田・豊前の施設等に一時的に入所・入院								その他	7名

・生活支援員登録数　　15名

１８)成年後見事業

（１）市民後見推進事業

市より受託し、今後の第3者後見人としての「市民後見人」の養成及び市民への成年後見制度周知等の取り組みについて推進

①会議・研修会の開催

事業項目	回数	内容
市民後見推進協議会会議	3回	関係機関や専門家の方々による事業推進の協議会を発足し会議を開催。 （3回：平成27年5月19日、8月18日、平成28年3月18日）
市民後見推進研修会	1回	6月14日落語家による成年後見制度について成年後見落語を口演。その後、市民後見人の現在の活動や取組内容、申立の実状などをパネルディスカッションにて紹介。103名参加

②市民後見人養成講座の開催

市民同士で支え合う仕組みのひとつとして、成年後見制度に関わる人材の育成を図る

・講座開催回数（合計単位数）　12回　（60単位）　※1単位＝1時間

・受講者数　8名

・修了者数　8名　※内2名は前年度受講者の追加受講による終了

・中津市市民後見人候補者登録数　30名　※新規登録　8名　更新登録　22名

③市民後見人候補者フォローアップ研修の開催

今までの養成講座を修了し、市民後見人候補者として登録した人を対象に研修を開催。登録更新には各種別1回以上の受講を義務付け。

研修種別	回数	内容
講義	4回	5/28：成年後見の就任時の実務について、6/21：市民後見推進研修会、12/10：相続に関する基礎知識 2/24：高齢者虐待について
実務	5回	8/27：事例検討、10/28：実践報告、11・12：施設実習、11/7：現役後見人による実践報告、 3/17：法人後見支援人による実践報告

（２）法人後見事業

法人として、後見人となり、被後見人の身上監護・財産管理を行う。

受任時の手続きは職員が中心に行い、日常的な後見事務は後見支援員を中心に実施。

事業項目	数	内容
新規受任者数	2件	市長申立による受任１件。親族申立てによる受任１件。
後見業務	4件	累計受任数４件の事務。 年度途中に被後見人１名が亡くなり、3/31現在3件の事務を行なっている
申立て支援	1件	親族による申立てで、書類作成、家裁との調整等申立て事務をサポート。
法人後見支援員登録者数	13名	平成25・26年度の後見人候補登録者23名のうち、13名が登録。
後見業務に携わる支援員数	3名	法人後見支援員13名のうち、実際の後見事務担当者として任命した支援員数。
受任調整委員会の実施	2回	専門職等有識者による受任調整会議を設置・開催し、法人後見事業で受任する 事案について協議。

１９)介護保険要介護認定調査事業

被保険者からの要介護認定申請に基づき、認定調査員が自宅もしくは施設へ訪問し、対象の方の心身の状況などを調査する業務

調査件数　3,111　件/年

２０）放課後児童クラブ事業

小学校に就学する児童に対して、授業の終了後における適切な保護及び健全な育成を図る。

年間実施日数 1,436日開設

真坂	288日
山口	288日
秣	286日
樋田	287日
城井	287日

登録児童人数　111名

真坂	25名
山口	22名
秣	25名
樋田	25名
城井	14名

延利用児童人数　15,832名

真坂	4,647名
山口	3,585名
秣	3,473名
樋田	2,965名
城井	1,162名

５．多様な人材による地域活動の推進

１）みんなのふくしまつり開催事業

市内の子どもから高齢者まで楽しめ、地域に身近なボランティア市民活動や地域のさまざまな活動に触れ、世代や障がいを超えた市民の参加と交流（つながり）を目的として「第７回　みんなの”ふくしまつり”」を実行委員会形式で開催。

［実施日時］　平成２７年１０月２５日（日）午前１０時から午後２時まで

［参加者数］　約１，０００名（一般参加者　７００名＋ボランティア等関係者　３００名）

［実行委員会開催数］　各種団体代表28名の構成メンバーにより、計6回の実行委員会を開催。

［内　　容］１、アトラクション　6 団体
２、バザー・屋台コーナー　22 団体
３、参加体験・見るコーナー 20 ブース
４、その他（抽選会、共同募金受付等）

２）住民参加型有償サービス事業

自助・互助の精神を基調とした地域の“ボランティア的な”意識を持たれた人々と、低額有料（非営利）のサービスを必要として在宅で自立した生活を営む人々とが、地域に暮らす住民の構築をひとりひとりがお互いに助け合う社会を目指し、地域福祉の向上に寄与することを目的として実施しました。

社協運営登録者数

協力会員　60名

三光	4名
本耶馬渓	9名
耶馬溪	37名
山国	10名

利用会員　95名

三光	20名
本耶馬渓	10名
耶馬溪	38名
山国	27名

延利用回数　936回

三光	330回
本耶馬渓	14回
耶馬溪	284回
山国	308回

延利用時間　1,206時間

三光	342時間
本耶馬渓	27時間
耶馬溪	451時間
山国	386時間

３）生活支援体制整備事業

平成27年度新規事業。地域包括ケアシステムの構築に向け高齢者の生きがいづくり・介護予防の視点を持ち、高齢者ニーズを把握し、生活支援サービスをはじめとする資源開発や地域づくりを行う事業。

（１）生活支援コーディネート業務

第１層生活支援コーディネーター１名を配置し、地域の状況に応じた包括ケアシステムの構築を図る

実施事業	説明	備　考
地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起	地域の高齢者の実態把握のため、市内3ヶ所の地域サロンに参加し、参加者・ボランティアに対しアンケート調査 参加サロン：すずめの家、こまどりの家、はちどり庵	３ヶ所×２５回　計７５回
	中津市内の地域包括支援センターを訪問し、地域の課題・個々のニーズを聞き取る。 包括支援センター：いずみの園、三光園、創生園、村上、社協（各エリア）	８回
	市主催の地域ケア会議に参加し、事例を通して地域の課題を把握。	２回
地縁組織等多様な主体への協力依頼などの働きかけ	住民型有償サービス団体立ち上げに向け、地域福祉ネットワーク協議会である“源流の郷”やまくに福祉の会と住民型有償サービスの立ち上げ準備会メンバーとの経過報告・協議の機会づくり	２回
	元気☆いきいき！週１体操の開催に向け、自治委員をはじめとする地域の方々と話し合い 三光・森山地区、万田地区、上宮永地区	三光・森山地区　６回（実施日参加　４回） 万田地区　１回 上宮永地区　１回
関係者のネットワーク化	既存の住民型有償サービス団体と、耶馬溪・山国の立ち上げ準備会メンバーとの座談会開催。 及び、事務局候補者と既存団体マネージャーとの同行訪問の機会を調整。 既存団体の月例会に準備会メンバーが参加する機会の調整。	８回
	音楽療法士・柔道整復師と共同でサロン等寄り合いの場で簡単に実践できる体操の製作。及び、地域サロン等での実践の場を設けられるよう調整。	面談　１３回 実践　４ヶ所
	生活支援サービス従事者同士の勉強会の開催 参加者：シルバー人材センター、住民型有償サービス３団体、ヘルパー連絡会、家政婦協会、市役所、社協	１回
	包括職員・認知症地域支援推進員への地域サロンへの参加の機会の調整	３回

目指す地域の姿・方針の共有、意識の統一	山国地区での住民型有償サービス団体立ち上げの話を通し、地域福祉ネットワーク協議会とも今後の地域づくりについて共通認識を図った	１回
	耶馬溪・下郷地区住民と住民型有償サービス準備会メンバーと竹田市・暮らしのサポートセンター・久住「りんどう」への視察に同行	１５人
	山国“源流の郷”やまくに福祉の会と住民型有償サービス準備会メンバーと竹田市・暮らしのサポートセンター・直入「ゆのはな」への視察への同行	１８人
生活支援の担い手の養成やサービス開発	住民型有償サービス「支え合いスタッフ養成研修」及びフォローアップ研修の開催。研修終了後は人財バンク「あんさんく」に登録。 中津会場：２回、本耶馬渓会場：２回 内容：１日目　認知症の人も安心できるｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ 身体介護の基礎知識 ２日目　生活援助の基礎知識 有償サービス活動、あんさんくとは	中津会場　　延べ６７名 本耶馬渓会場　延べ６４名 あんさんく登録者　５０名（累計　１５４名）
	住民型有償サービス団体のネットワーク協議会や各団体の月例会への参加による後方支援	ネットワーク協議会理事会参加　４回 各団体の月例会参加　　１３回
	「支え合いスタッフ養成研修」終了後に人財バンクあんさんくに登録した方を、住民型有償サービス団体につなぐ。及び、活動につながった方々の経過確認	７名
	平成２６年度「支え合いスタッフ養成研修」受講者を中心に、耶馬溪地区・山国地区にて住民型有償サービス団体の新規立ち上げ支援	準備会の話し合い　２３回
	『地域の拠点づくり』としてシニアほっと元気Station「よりあ」を開設（沖代地区・すずめの家にて）	平成27年11月～平成28年3月　18回
ニーズとサービスのマッチング	住民型有償サービス利用希望者のインテーク、及び各団体への紹介。必要に応じて初回面接へ同行。	22名
	体操を中心とした住民主体の活動を始めるにあたり、県のモデル事業を紹介し、行政との橋渡しを行った	1ヶ所
	地域のサロン関係者と介護保険サービス事業者がサロン参加者の支援について協議する場を設けた	３事例

（２）住民型有償サービス団体支援

家事援助・子育て支援等、さまざまな地域の福祉ニーズに対し、住民同士の支え合いとして行なっている住民型有償サービス団体への支援を通して、住民が行う個別援助への支援及び活動の強化を行う

団体…沖代どんぐりサービス・大幡まこもサービス・北部えがおサービス　　計3団体

支援項目	説明	支援内容
住民型有償サービス団体支援	相談支援・マネジメント等が継続的に行えるための支援	120,000円×３団体
ﾈｯﾄﾜｰｸ協議会総会開催支援	年1回の3団体の総会開催の支援	1回
ﾈｯﾄﾜｰｸ協議会研修会開催支援	団体のスタッフ（協力会員）スキルアップの研修開催支援	2回
ﾈｯﾄﾜｰｸ協議会理事会支援	役員会に参加し、課題共有と支援の方向性を検討	4回
相談受付・コーディネート※	住民からの相談に応じて有償サービスへの調整	39回

※内訳
- 子育て支援・病児保育
- 精神障がい者の家事支援
- 障がい児保育
- 高齢者の家事支援・外出介助等

４）中津市福祉の里づくりサポーター事業

６５歳以上の中津市の介護保険第１号被保険者が、サポーター活動（ボランティア）を行うことによって、本人の健康増進・介護予防・社会参加・地域貢献を通じた生きがいづくりを目的として実施。

サポーター登録者数	663人
受入機関登録数	124ヵ所

（高齢者施設、障がい者施設、児童施設、給食ボランティア、地域サロン等）

5）ファミリー・サポート・センター事業

子育て中の家庭を応援するために、子どもの預かり等の援助を受けたい方（おねがい会員）と預かり等の援助を行う方（まかせて会員）との相互援助活動に関する連絡調整を行う事業。

おねがい会員登録者数	49名
まかせて会員登録者数	62名

6．福祉意識の高揚・啓発及び育成

地域福祉の情報提供により、社会福祉協議会の事業紹介、福祉及びボランティア意識の育成並びに活動啓発のため広報紙を発行。

1）社協だよりの発行

名称	年間発行回数	1回の平均部数	主な配布先
社協だより　なかつ	3回	34,000部	全戸
社協だより　なかつ（点字版）	3回	30部	市内視覚障がいの方

2）地域福祉情報紙の発行

地区	名称	年回数	1回の平均部数	主な配布先
本耶馬渓	にじのはし	5回	1,500部	全戸、公共施設
耶馬渓	めいぷる	1回	1,700部	全戸、公共施設
山　　国	かかし	11回	1,100部	全戸、公共施設

3）ボランティア情報紙の発行

ボランティア・市民活動ｾﾝﾀｰ	ボランティア・市民活動情報紙ぺんぎん	6回	2,500部	公共施設、自治委員、民生委員、ボランティアグループなど

4）福祉教育・福祉講座の開催

No.	講座・研修名	回数	参加者	目的・趣旨
1	地域福祉講座 「地域のチカラで、明日を元気に！」～おせっかいが地域をつなぐ～	1回	100名	「その地域で生活している人にしか見えない課題や問題」は数多くあります。身近な地域での関係性の中から気づいた課題や発見したことを住民自らつなげ、立ち上がり自発的に共助の取組みを始め、広げていった先進の事例からその考え方を学ぶ機会としたい。 その中で、支え合う地域づくりの意義・必要性を実感することで、各地域での小地域活動の活性化及び活動への参画を図ることを目的として実施。
2	地域福祉人材育成講座 「地域福祉ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄ基礎研修」～人のつながりをつくる編～（2回ｼﾘｰｽﾞ）	2回	31名	この「地域福祉コーディネート基礎研修」は、だれもが暮らしやすい地域づくりに向けて、自分たち自身で地域づくりを進めていくためには、さまざまな住民活動がありますが、その住民活動の推進には、地域住民のマネージメント力（情報把握力・調整力・総合判断力・ｺﾐﾆｭｹｰｼｮﾝ力・企画力）が不可欠です。 今後、地域福祉ﾈｯﾄﾜｰｸ活動及び地域福祉活動を推進していくために、マネージメントに必要な基礎力の養成を目的として実施。
3	地域福祉講座 「寄り合いの場交流研修会」～サロンだよ！全員集合！！～	1回	139名	この交流研修会は、サロンの代表やお世話役の方々を対象とし、中津市内及び県北地区の各サロンの活動内容や運営方法をお互いに話し合う場を持つことで、サロン間の交流を図り、サロン同士のつながりや魅力あるサロン作りの推進を図ること目的として実施。（豊後高田市・宇佐市・中津市の３市合同）
4	山国地域福祉講座 「山国ふくし男塾」	1回	34名	中津市内の中で最も高齢化率が高く、高齢者世帯やひとり暮らし世帯も年々増えている。その見守りをしている住民やボランティアの担い手も高齢化しており、その多くが女性で、今回、定年前からの男性住民を対象とした地域福祉講座によって、それぞれが地域の現状や課題に自ら気づくことで、地域福祉活動への参加と地域力の向上を目指すと共に地域を担う人材の輪を拡げることを目的とする。

5）事業所広報紙・新聞

広報紙・新聞名	年間発行回数	1回の平均部数	主な配布先
やすらぎだより	12回	125部	施設入所者の家族と関係者
ウテリー だより	12回	110部	利用者の家族と公共の施設（山国地区）
なのはな便り	12回	110部	利用者の家族と公共の施設（耶馬渓地区）
ひなぎく	12回	75部	利用者の家族と公共の施設（本耶馬渓地区）
さんこうデイだより	12回	50部	利用者の家族と公共の施設（三光地区）
児童館だより	12回	650部	三光地区の小中学校と児童関係の施設

6）ホームページ

新鮮な地域福祉に関する情報、地域資源の紹介、社会福祉協議会の紹介などをインターネットを通じて発信。

ホームページアドレス　：　http://www.nakatsu-s.or.jp/

7）「わいわい福祉ひろば」事業

社協内にハートプロダクションを設け、市内近郊の視覚、聴覚、肢体の障がい者及び手話や点訳ボランティア、高齢者等をタレント登録し、市内の小学校等に派遣し、生活体験の講話や疑似体験学習を通し、障がい者の理解・高齢者理解などの福祉意識の啓発を図る事業。

【年度実績】

実施校数（校）	21校
年間開催回数（回）	54回
受講者数　児童生徒（人）	2,377人
受講者数　保護者（人）	520人

【コース別】

聴覚コース	15回
視覚コース	15回
肢体コース	14回
エルダーコース	10回
合　計	54回

7．社会福祉協議会組織体制の強化

1）職員配置状況（所属別）

平成28年3月31日現在

課		正規	嘱託	臨時	非常勤	計
総務課		6人	11人	1人	1人	19人
	一般事務	4	2	1		7
	福祉バス		1			1
	センター管理		1			1
	認定調査室	2	7		1	10
地域福祉課		24人	5人	0人	0人	29人
	一般事務	15	2			17
	ボランティア・市民活動センター		1			1
	あんしんサポートセンター		1			1
	生活福祉資金		1			1
	地域包括支援センター	9				9
福祉サービス課		38人	3人	31人	116人	188人
	一般事務	4	1	1		6
	三光事業所	3		7	30	40
	本耶馬渓事業所	11		8	31	50
	耶馬渓事業所	12	1	7	34	54
	山国事業所	8	1	8	21	38
やすらぎ荘		39人	4人	17人	16人	76人
豊寿園		9人		4人	12人	25人
合　　計		116人	23人	53人	145人	337人

2）中津市社会福祉協議会における各種会議や研修会

［会議・各部会の開催状況］

①課長会議　年　44 回開催
②エリア会議　年　32 回開催
③係長会議　年　16 回開催
④やすらぎ荘内会議・委員会
・やすらぎ運営会議　年　12 回開催
・高齢者虐待防止委員会　年　4 回開催
・QOL生活向上委員会　年　2 回開催
・身体拘束未然防止委員会　年　12 回開催
・感染症防止委員会　年　4 回開催
・事故防止委員会　年　4 回開催
・褥瘡防止委員会　年　6 回開催
・看取り研修委員会　年　4 回開催
・すっきり委員会　年　3 回開催
・接遇委員会　年　3 回開催
・喀痰吸引委員会　年　12 回開催
⑤福祉サービス課内会議・部会
・生きがい通所介護部会　年　3 回開催
・機能訓練専門部会　年　2 回開催
・訪問入浴部会　年　2 回開催
・居宅介護支援部会　年　3 回開催
・通所介護部会　年　4 回開催
・訪問介護部会　年　2 回開催
・居住部会　年　4 回開催
・調理部会　年　5 回開催
⑥豊寿園内会議・委員会
・事故防止委員会　年　12 回開催
・感染症対策委員会　年　5 回開催
・各種運営委員会　年　14 回開催
・支援員会議　年　12 回開催
・献立委員会　年　12 回開催
・ケース会議　年　16 回開催
・職員会議　年　12 回開催
・業務改善会議　年　5 回開催
○実習担当委員会２回開催
○社会福祉士部会３回開催
（実習生受け入れ人数：１人）

[redacted]

1）葬祭壇貸出事業

葬祭具の貸出を実施

【貸出件数】

34件

耶馬渓	13件
山国	21件

２）祝金婚記念品贈呈事業

平成２７年度に金婚を迎える夫婦に対して、記念写真及び額を贈呈。

（校区）

南部	0件	大幡	5件	本耶馬渓	6件
北部	5件	如水	8件	耶馬渓	9件
豊田	12件	三保	2件	山国	5件
沖代	4件	和田	2件		
小楠	10件	今津	10件	合計	90件
鶴居	4件	三光	8件		

３）児童館事業（三光）

幼児・児童・生徒に健全な遊びや学習、交流の機会を与え、健全育成に資するとともに児童館の適正な運営を図った。

開館日数　262　日

児童館利用者：10,616名

就学前児童	1,158名
小学生	7,994名
中高生	372名
保護者・ボランティア	1,092名

４）寝たきり高齢者見舞品贈呈事業

市内の寝たきり高齢者世帯に対して、日常生活上の在宅介護に係る負担軽減と便宜を図ることを目的として、歳末助け合い募金配分事業により、見舞い品（介護用品）を贈呈。

（校区）

南部	5名	大幡	7名	本耶馬渓	26名
北部	12名	如水	9名	耶馬渓	7名
豊田	8名	三保	3名	山国	13名
沖代	14名	和田	3名		
小楠	7名	今津	9名	合計	159名
鶴居	25名	三光	11名		

５）障がい者ミニデイ支援（鈴の音）

障がいのある方とボランティアがお互いに理解・尊重して、共に地域の住民として交流できる場として、社協として障がいのある方への支援に対するニーズ把握の場を目的として開催。

開催日数	11　日		
実利用者数	15　名	延利用者数	116　名
実登録者ボランティア数	10　名	延参加者数	90　名

６）安心生活支援事業（買い物支援事業：山国）

一人暮らし高齢者及び高齢者世帯に対して、訪問聞き取り調査を行い、その結果から「買い物したいが移動手段が無い」等の意見があり、見守りを兼ねた買い物支援事業を立ち上げ、平成23年11月から事業開始。

協力登録店舗	10店舗	
利用登録会員	27名	
買い物配達回数	237件	
買い物支援を行った販売金額	627,813円	＊１回当たりの平均購入額　2,649円
実利用者数	14名	
買い物サロン（買い物バス支援）	3回	＊8/6春田ふれあい・藤野木サロン（15名）、8/7前谷・小屋川お楽しみ会サロン（16名）、2/13大杉の会・市平・上村なかよしサロン（21名）

９．ボランティア市民活動センター事業

１)ボランティア・市民活動センター事業

ボランティアコーディネーターを設置し、ボランティア活動の発掘と支援のための相談、連絡、調整、育成、啓蒙活動等を実施。

①ボランティア希望・募集・相談　249件

②夏のボランティア体験月間
　市内の中高大学生を中心に、市内の施設等で福祉体験学習を実施。

（体験参加者数）　151名　　（実施期間)平成 27年 7月19日　～　8月31日

一般	0名
大学・専門学校生	12名
高校生	102名
小・中学生	37名

（受入施設）　36　ヶ所

③春のボランティア体験

（体験参加者数）　20名　　（実施期間）　平成28年 2月25日　～　4月上旬

一般	0名
大学・専門学校生	0名
高校生	20名
小・中学生	0名

（受入施設）　21　ヶ所

④市社協指定ボランティア推進校　10　校

⑤ボランティア活動保険
　ボランティア活動を行う個人・グループが安心して活動が行えるようボランティア活動保険の加入促進。

　加入者数 3,054 名

⑥ボランティア登録状況
　社協登録のボランティアグループ・個人登録（各種講座及び研修会の案内、連絡調整他）

地区	団体会員数	団体数
中津	3,347名	121団体
三光	127名	10団体
本耶馬渓	127名	6団体
耶馬渓	230名	10団体
山国	340名	21団体
計	4,171名	168団体

個人登録　432　名

⑦ボランティア・市民活動ｾﾝﾀｰ運営委員会の設置

10. その他社協事業

１）福祉バス運行事業

地域福祉活動の円滑化と福祉充実を図るための福祉バスの運行事業。

運行回数 173　回　延利用者数　4,389　名

２）災害見舞金支給事業

市内に在住する世帯で、火災により家屋が全焼又は、半焼した世帯に対して、見舞金を支給。

対象件数　1 件

３)施設等管理運営事業

①中津市教育福祉センター（休館日　火・年末年始）
　延利用者数　37,241　名　開設日数　311 日/年

②三光福祉保健センター（休館日　地域福祉センター：日祝・年末年始、保健センター：土日祝・年末年始）
　延利用者数　12,847　名　開設日数　243 日/年

③本耶馬渓総合福祉センター管理棟（休館日　土日祝・年末年始）
　延利用者数　432　名　開設日数　243 日/年

④耶馬渓介護研修センター（休館日　土日祝・年末年始）
　延利用者数　428　名　開設日数　243 日/年

⑤すぱーく耶馬渓多目的広場
　延利用者数　1,513　名　開設日数　293 日/年

11、各種共催・後援状況

１）共催事業状況

今年度、共催事業なし

２)後援事業状況

No.	開催期間	行　事　名	主　催　者　名
1	H27.9.21～22	次世代育成ボランティア研修会　フェスタディドルチェ2015	アースデイ中津
2	H27.10.2	「僕がジョンと呼ばれるまで」自主上映会	大分学習療法研究会
3	H27.10.4	中津市身体障がい者協議会　第7回球技大会	中津市身体障がい者協議会
4	H27.11.21	～介護就職デイ～2015年度県北地区福祉のしごと就職フェア	大分県福祉人材センター
5	H27.12.5	「僕がジョンと呼ばれるまで」自主上映会	大分学習療法研究会
6	H27.12.5	「みんなの学校」自主上映会	「みんなの学校」自主上映会実行委員会
7	H28.2.27	第7回中津市母子寡婦福祉大会「子どもの笑顔は親のパワー」	中津市母子寡婦福祉連合会